名前：　渡邊 浩史

最終学歴：　佛教大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程修了
職名：　教授
学位：　文学博士
担当科目：　日本文化講義 A、B、教養演習 C1、社会文化入門 C1、日本文学概説、専門演習第 15、専門基礎演習第 15
所属学会：　日本近代文学会、日本近代文学会関西支部、昭和文学会、四季派学会、日本現代詩研究者国際ネットワーク
専門分野：　日本文学（近・現代）

■研究業績

【著書】（共著、編著、執筆分担を含む）

1.『中原中也　メディアの要請に応える詩』（主著）れんが書房新社　2012 年
2.『幼児からのくもんの詩のカード』（共著）くもん出版　2005 年
3.『現代詩大事典』（共著）三省堂　2008 年
4.『滋賀近代文学事典』（共著）和泉書院　2008 年
5.『「私的には…」からの脱出』（共著）創文社　2009 年
6.『兵庫近代文学事典』（共著）和泉書院　2011 年
7.『新編「私的には……」からの脱出』（共著）京都書房　2012 年
8.『芥川と犀星』（共著）おうふう　2012 年
9.『太宰とかの子』（共著）おうふう　2013 年
10.『京都近代文学事典』（共著）和泉書院　2013 年
11.『高等学校　現代文Ｂ「テスト問題集現代文編』(共著) 明治書院　2014 年
12.『新編　ひたむきな人々　―近代小説の情熱家だち―』(共著)龜鳴屋　2021 年

【論文】

1.「『人間失格』における「痰壺」」、『京都語文』第 8 号、pp.160-164、2001 年 10 月
2.「雑誌から見る中也の初期詩篇について―「白痴群」「生活者」の比較を通して―」『四季派学会論集』第 10 集、pp.12-26、2002 年 6 月
3.「「道化の華」の一つの引用―ダンテ『神曲』「地獄の門」銘文引用に関する翻訳の問題点―」『佛教大学大学院紀要』第 31 号、pp.103-111、2003 年 3 月
4.「詩集と初出誌と読者の関係―『山羊の歌』先行研究史上に働いていた中也

のメディア戦略―」『昭和文学研究』第 47 集、pp.36-50、2003 年 9 月
5.「松本清張『明治金沢事件』における典拠―『石川県史』との比較を通して―」『京都語文』第 10 号、pp.232-249、2003 年 11 月
6.「伝統と道具―「白痴群」創刊号発表詩篇という中也のマニフェスト―」『中原中也研究』第 9 号、pp.105-116、2004 年 8 月
7.「〈悔恨〉と〈祈り〉―中原中也「白痴群」発表詩篇を読む―」『中原中也研究』第 10 号、pp.143-153、2005 年 8 月
8.「メディアの要請に応える詩―『四季』『歴程』における中原詩の特質をめぐって―」『京都語文』第 13 号、pp.125-142、2006 年 11 月
9.「中原中也と〈京都〉―心象風景として再構築された〈都市空間〉―」『佛教大学総合研究所紀要』第 14 号、pp.12-26、2007 年 3 月
10.「文芸誌「生活者」に発表された中原詩の一側面を―ボードレールの翻訳詩をめぐって―」『日本現代詩研究者国際ネットワーク』会報第 28 号、pp.3-4、2007 年 4 月
11.「〈夕焼小焼を唄う少年〉の精神―中原中也「歴程」発表詩篇を読む―」『京都語文』第 14 号、pp.211-227、2007 年 11 月
12.「「生命主義」言説圏から生成される詩―文芸誌「生活者」に発表された中原詩の特質をめぐって―」『國學院雑誌』第 109 巻第 6 号、pp.1-14、2008 年 6 月
13.「〈観光〉・〈自殺〉・〈恋愛〉―中谷孝雄「春の絵巻」に表象された〈京都〉―」『佛教大学総合研究所紀要別冊　京都における日本近代文学の生成と展開』、pp.125-142、2008 年 12 月
14.「〈新しい小説〉としての表現技法―内田百閒「東京日記」論―」『國學院雑誌』第 110 巻第 9 号、pp.30-43、2009 年 9 月
15.「〈知性〉と〈感情〉の詩学―「四季」に発表された中原中也の散文詩をめぐって―」『國學院雑誌』第 111 巻第 6 号、pp.32-44、2010 年 6 月
16.「中谷孝雄「春の絵巻」再論―文芸雑誌「行動」との関係性をめぐって―」『京都語文』第 18 号、pp.194-211、2011 年 11 月
17.「〈理想の詩〉をめぐって―中原中也「都会の夏の夜」評釈―」『言語文化論叢』第 6 号、pp.211-227、2012 年 9 月
18.「中谷孝雄「春」考―川端康成との関係をめぐって―」『京都語文』第 19 号、pp.263-278、2012 年 11 月
19.「〈科学〉を凌駕する〈オカルティズム〉―阿部知二「化生」論―」『言語文化論叢』第 7 号、pp.15-25、2013 年 9 月
20.「〈美〉に取り憑かれた男たちの物語―中谷孝雄「春の絵巻」をめぐって―」『言語文化論叢』第 8 号、pp.25-32、2014 年 9 月
21.「太宰治「芸術ぎらひ」論―「芸術」を超越する「映画」の可能性をめぐって―」『大月短大論集』第 47 号、pp.1-14、2016 年 3 月

22.「28 年度施行カリキュラムにおける「教養演習」の改革(1)」（共著）『大月短大論集』第 47 号、pp.15-42、2016 年 3 月
23.「阿部昭「天使が見たもの」論―〈救済〉されない〈天使の物語〉―」『大月短大論集』第 48 号、pp.1-19、2017 年 3 月
24.「28 年度施行カリキュラムにおける「教養演習」の改革(2)」（共著）『大月短大論集』第 48 号、pp.47-70、2017 年 3 月
25.「表象される〈京都〉―中谷孝雄「春」をめぐって―」『四季派学会論集』第 22 集、pp.12-25、2017 年 12 月
26.「山田詠美「ベッドタイムアイズ」論―〈新しいリアリズム〉をめぐって―」『大月短大論集』第 50 号、pp.1-19、2019 年 3 月
27.「松本清張「尊厳」論―交わることが叶わない人間の物語―」『大月短大論集』第 51 号、pp.1-16、2020 年 3 月
28.「桜井亜美『イノセント　ワールド』論―表象される〈イノセンス〉―」『大月短大論集』第 52 号、pp.1-18、2021 年 3 月
29.「松本清張「老春」論―永遠に出口のない〈業〉の物語―」『大月短大論集』第 53 号、pp.1-15、2022 年 3 月
30.「松本清張「氷雨」論―女の意地の果てに見出された〈人間模様〉―」『大月短大論集』第 54 号、pp.1-12、2023 年 3 月
31.「阿部昭「約束」論―〈性欲〉と〈恋愛〉の境界線―」『大月短大論集』第 55 号、pp.1-16、2024 年 3 月
32.「阿部昭「怪異の正体」論―「最後の小説」という〈希望〉―」『大月短大論集』第 56 号、pp.1-14、2025 年 3 月
33.「石田衣良「泣かない」論―〈恋愛〉におけるそれぞれの〈決断〉―」『大月短大論集』第 57 号、pp.1-13、2026 年 3 月

【その他】（報告書、書評、翻訳、エッセイなど）

1.「中原中也の会第 6 回研究集会印象記」、『中原中也の会会報』第 12 号、pp.3-4、2002 年 7 月
2.「中原中也の会第 14 回研究集会印象記」、『中原中也の会会報』第 28 号、pp.6-5、2010 年 7 月
3.「日本近代文学会関西支部会春期大会報告」、『日本近代文学会会報』113、pp.37-38、2010 年 9 月
4.書評「加藤邦彦著『中原中也と詩の近代』」、『四季派学会論集』第 16 集、pp.37-40、2011 年 12 月
5.書評「外村彰著『岡本かの子　短歌と小説―主我と没我と―』」、『論究日本文学』第 96 号、pp.184-187、2012 年 5 月

【学会報告・研究発表】

1.「雑誌から見えてくる中也詩の特徴」、四季派学会秋季大会、2000 年 11 月、大阪教育大学柏原キャンパス
2.「昭和四、五年の中也詩をめぐって―〈マニフェスト〉としての「白痴群」創刊号発表詩篇―」、中原中也の会　研究集会、2003 年 5 月、彩の国さいたま芸術劇場映像ホール
3.「中原中也と〈京都〉―書記行為に表象された中也の〈京都像〉―」、四季派学会秋季大会、2005 年 11 月、中京大学センタービル
4.「〈四季派詩人・中原中也〉の詩―〈知性〉と〈感情〉の詩学―」、日本現代詩研究者国際ネットワーク研究報告会、2009 年 10 月
5.「四季派学会秋季大会　研究発表司会」、四季派学会秋季大会、2007 年 11 月、佛教大学
6. 「四季派学会春季大会　研究発表司会」、四季派学会春季大会、2008 年 6 月、大谷大学
7. シンポジウム「Liric Jungle 21 特集座談会「中原中也とメディア転換」」、中原中也座談会、2009 年 1 月、平安女学院大学京都キャンパス会議室
8. 「中原中也の会研究集会　研究発表司会」、中原中也の会、2009 年 10 月、日本近代文学館
9. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012 年 1 月、佛教大学四条センター
10. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012 年 3 月、佛教大学四条センター
11. 「中原中也の会研究集会　研究発表司会」、中原中也の会、2012 年 5 月、神奈川近代文学館
12. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012 年 7 月、佛教大学四条センター
13. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012 年 9 月、佛教大学四条センター
14. 「公開講座「放課後の文学教室」」、2013 年 7 月、佛教大学四条センター
15. 「公開講座「放課後の文学教室」」、2013 年 9 月、佛教大学四条センター
16. 「公開講座「放課後の文学教室」」、2014 年 7 月、佛教大学四条センター
17. 「中央市民大学〈専門講座〉文化・歴史―昭和初期の時代―」、2014 年 10 月、尼崎市立中央公民館
18. 「中央市民大学〈専門講座〉文化・歴史―昭和初期の時代―」、2014 年 10 月、尼崎市立中央公民館
19. 四季派学会冬季大会　研究発表司会、2015 年 12 月、駒澤大学
20. 四季派学会夏季大会　研究発表司会、2016 年 6 月、恵泉女学園大学
21. 中原中也の会　第 21 回大会総合司会、2016 年 9 月、セントコア山口
22. 四季派学会夏季大会　研究発表　題目「中谷孝雄論　―小説「春」をめぐって―」、2017 年 6 月、恵泉女学園大学
23. 平成 29 年度山梨県県民コミュニティカレッジ「哲学するとは何か」（組

織者：渡邊浩史)、2017 年 10 月 18 日、大月短期大学
24. 四季派学会冬季大会　総合司会及び研究発表司会、2017 年 11 月 18 日、法政大学市ヶ谷キャンパス
25. 四季派学会夏季大会　総合司会及び研究発表司会、2018 年 6 月 30 日、法政大学市ヶ谷キャンパス
26. 四季派学会冬季大会　総合司会、2018 年 11 月 24 日、法政大学市ヶ谷キャンパス
27. 四季派学会夏季大会　総合司会、2021 年 6 月 26 日、神奈川近代文学館
28. 四季派学会冬季大会　総合司会、「《没後 80 年　萩原朔太郎大全 2022》」2022 年 11 月 26 日、法政大学市ヶ谷キャンパス
29. 四季派学会夏季大会　総合司会及び研究発表司会、「三好達治小特集」2023 年 6 月 17 日、法政大学市ヶ谷キャンパス
30. 四季派学会冬季大会　総合司会及び研究発表司会、「萩原朔太郎特集」2023 年 11 月 25 日、法政大学市ヶ谷キャンパス
31. 四季派学会夏季大会　総合司会及び研究発表司会、「《生誕 110 年記念　立原道造特集》」2024 年 6 月 29 日、ヘリテイジ浦和　別所沼会館
32. 四季派学会夏季大会　総合司会及び研究発表司会、2026 年 7 月 4 日、かながわ県民センター1501 会議室

【学会関係】

1.四季派学会、運営委員、2001 年 4 月～現在
2.日本現代詩研究者国際ネットワーク、理事、2008 年 4 月～現在
3.四季派学会、理事、2009 年 6 月～現在
4.中原中也の会、理事、2011 年 9 月～2020 年 9 月
5.中原中也の会、編集委員、2016 年 9 月～2020 年 9 月
6.四季派学会、編集委員、2016 年 11 月～現在
7.昭和文学会、編集委員、2019 年 8 月～2021 年 8 月

【社会活動】

1.「哲学するとは何か　第 1 回　文学作品から見えてくる哲学」県民コミュニティーカレッジ、大月短期大学、2017 年 10 月
2.やまなし観光カレッジ、コーディネーター、2019 年 4 月～2020 年 3 月
3.教養文化養成事業、企画運営・講師紹介及び総合司会、2024 年 11 月 5 日
4.教養文化養成事業、企画運営・講師紹介及び総合司会、2025 年 11 月 18 日
5.教養文化養成事業、企画運営・講師紹介及び総合司会、2026 年 10 月 20 日